

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 4 年 3 月 11 日(2022.3.11)

【公開番号】特開 2020-141774(P2020-141774A)  
 【公開日】令和 2 年 9 月 10 日(2020.9.10)  
 【年通号数】公開・登録公報 2020-037  
 【出願番号】特願 2019-39151(P2019-39151)  
 【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 3 2 0

A 63 F 7/02 3 2 6 Z

A 63 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 3 日(2022.3.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に設けられた始動口への遊技球の入球に起因して、所定の乱数を抽出する乱数抽出手段と、

前記乱数抽出手段により抽出された乱数を、所定の当選確率に従って当選か否かを判定する当否判定手段と、

前記当否判定手段の判定結果が当選の場合に、前記遊技領域に設けられた大入賞口を開放する特別遊技を実行する特別遊技制御手段と、

30

相互に異なる複数の前記当選確率を備え、管理者の操作によりいずれか一の当選確率をセットする確率セット手段と、

遊技の演出を実行制御する演出制御手段とを備えてなる弾球遊技機において、

前記確率セット手段によりセットされた当選確率に係る当選確率情報を示唆する示唆演出を備え、

前記演出制御手段は、

所定の示唆確率で前記示唆演出を実行するか否かを決定する通常示唆テーブルと、該通常示唆テーブルよりも高い示唆確率で示唆演出を実行するか否かを決定する高確率示唆テーブルを備え、

電源投入時から最初の特別遊技までの期間で、前記高確率示唆テーブルを有効とする高示唆モードと、該高確率示唆テーブル又は通常示唆テーブルを選択的に有効とする選択示唆モードとのいずれかに従って実行される示唆テーブル変換処理と、

40

予め定められた示唆条件の成立を契機として、前記示唆テーブル変換処理により有効とされた示唆確率に従って前記示唆演出を実行する示唆演出実行処理とを備え、

前記高示唆モードと前記選択示唆モードは、外部からの操作により一方を有効とすることを特徴とする弾球遊技機。